

2020.06.11. Thursday

学修・教育開発センター（CRED）



## スタートアップセミナー自主自律開講のご挨拶



井上 俊哉

自校教育科目部会部長

スタートアップセミナー自主自律は、家政学部と人文学部の1年生全員を対象として開講される自校教育科目（大学の建学の精神や歴史を学生に伝える授業）です。「伝える」と書きましたが、スタートアップセミナー自主自律は、担当教員が知識としての歴史や建学の精神を教える授業ではありません。家政学部、人文学部の全学科の学生どうしの協同学習を通じて、学生自身が主体的に歴史から学び、経験的・実践的に自主自律の姿勢・態度を獲得することを目指します。

この科目は、全学の教職員の協同による2年以上の準備期間を経て、2019（令和元）年から始まりま

した。初年度であった昨年、32クラスが開設され、科目の目的が達せられているというたしかな手応えを得ることができました。今年度はコロナウィルスによる感染拡大の影響から、前期授業がすべてオンラインとなり、対面による協同学習を行うことができなくなりました。それでも、以下の記事にもありますように、Google Meetを利用することで学生どうしの意見交換、討論の場を確保し、これにオンデマンドによる事前・事後の学修を組み合わせることで、科目の目的の実現を図っています。

今後もこのようなニュースレター形式で、この科目の取り組みをご報告してまいります。



## 授業についてのご報告

前期すべての授業がオンライン授業になった中、どのように科目の柱となる「協同学習」をすすめるか、ほかの多くの科目と同様に本科目についても授業計画案の見直しが必要となりました。これまでの授業そして今後の授業についてご報告いたします。

まず、基本的に本授業では①オンデマンド②リアルタイム配信の二種類のを使い授業を運営しております。学生は授業当日までにmanaba上に上がっている動画やスライド資料を確認し、オンデマンド学修をすすめ、事前課題を提出します。その後、授業当日はGoogle Meetを使ったリアルタイム配信を行い、教員やSAからの指示の元、回によってはグループワークを実施しています。授業終了後には、再度オンデマンド学修の形で事後課題に取り組むという流れの授業構成としています。第二回（五月二十一日）授業終了後に学生向けに実施したアンケートでは「授業の動画は学修しやすかったですか」の問いに対し、「学修しやすかった」「おおかた学修しやすかった」の回答が73.1%（図1）となり、一定の評価をいただけたと考えておりますが、同時に、「学修しづらかった」「少し学修しづらかった」と回答した5.6%の学生についてのフォローが必要だと感じています。

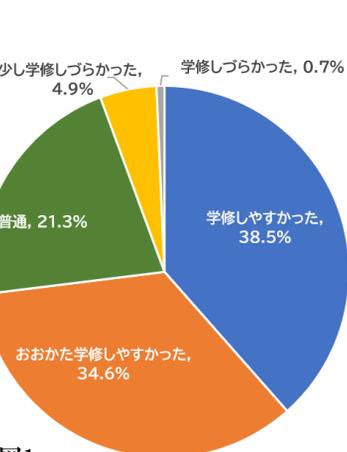


図1

数回設定いたしました。こうしたことから、各授業終了後に担当教員に回答をお願いしているアンケートからは、授業が概ねスムーズに行っているという結果が得られています。一方で一部のクラスでは学生がネット環境の不備等でリアルタイム配信にうまく接続できていない状況も見られています。オンライン授業支援窓口や各学科と連携し、引き続きサポートしてまいります。

六月十一日現在、授業は導入部分を終え、「東京家政大学の歴史から学び、未来を創る」パートに入っております。東京家政大学の現行く過去く未来の順番で、本学がどのような大学なのか、そこで学ぶ意味について考えていく授業構成になっていきます。

最後になりましたが、オンライン授業への変更に伴い、授業計画案の見直しにご尽力いただいた（ている）先生がた、三十二クラスの運営にご協力をいただいている担当教員・SAの皆様にごこの場を借りて心からの御礼をお伝えいたします。

# 授業の感想を紹介します

授業の冒頭のパート（授業の目的を共有する、協同学習の原則を共有する）が終了した段階で、以下2つの項目について受講生全員を対象にアンケートを行いました。いくつかの意見を紹介します。

第1回と第2回の学修でもっとも印象に残ったことは何ですか。

- 座学のような授業をイメージしていたので、先生と生徒が双方向で授業ができることに驚きました。また、先輩が私たちの授業を手伝ってくださるのも経験したことがなかったので印象深いです。
- 第2回の授業で、チームに分かれて自己紹介をしたことが一番印象に残っています。最初は、お互いミュートを外せず沈黙の時間が続いていました。しかし、チームの一人がチャットできっかけを作ってくれたことでカメラとミュートを外しスムーズに自己紹介をすることが出来ました。相手のリアクションを見ることで、自分の事を聴いてもらえてる実感がしました。まだ緊張は残っていますが、徐々にチームのメンバーと打ち解けられたら良いと思っています。
- 第二回の学修で大学入学後初めて同期の子と会話したことがとても心に残りました。

この授業で学修することで、どのような力をつけたいですか。

- 自分の意見を恥ずかしがらず、恐れることなく主張できるような力。また、相手の意見を聞いて、納得してより良い議論を作り上げていけるような力。
- この授業で、他人と違う意見を持った時にも恐れずに発言できるような積極性を身に着けたいと考えています。私は、自分の意見とほかの人の意見が違ったときに、自分の意見を言わずにほかの人の意見に賛成したり、対立を恐れて自分の意見をほかの人の言うとおりに変えたりしていました。しかし、この授業では対立を歓迎したり、意見と人格は分けて考えるなど、有意義な話し合いにするための方法をたくさん実践していくと知って、もっと自分の意見をはっきりと話せるようになりたいと思いました。もちろん自分の意見ばかりを話すのではなく、ほかの人の話も聞きながらベストな結論を出せるように上手な話し合いの仕方や積極性を身に着けたいと思います。



## 教員からのレポート

### 学生と共に＝新しい発見！

この授業の核である「協同しての学び」がオンライン授業でどのように実現できるのか、挑戦の中での出発となっています。

初の担当で毎回不安で一杯ですが、それに反して学生はさすがデジタルネイティブ世代！すぐにソフトの特徴を捉えて、オンラインでのグループワークにも、みな積極的です。相槌の打ち方や話の聴き方、対応が、私の想像をはるかに超えるもので、いかに私が「常識（日常的なコミュニケーションに囚われていたか）」ということに気づかされました。学生のとても柔軟な姿勢に触れ、オンライン授業という状況でのグ

ループワークの新しい可能性に希望を感じました。

「学科を越えて、みなで学び合う」中で、多様な考えに触れることが出来るのは、学生にとってもとても刺激的なようです。また、「本学の校風」と「新入生が持っている本学のイメージ」が一致していることも大きな発見でした。学科を越えてそれぞれの夢に向かって切磋琢磨できる仲間ができることは、この先の社会で求められる協同してチームで問題解決にあたる基礎作りになると感じています。



岩治 まとか 講師

人文学部  
教育福祉学科

スタートアップセミナー自主自律に関する問い合わせ先

学修・教育開発センター（板橋校舎 百周年記念館1階）

E-mail : [startup@tokyo-kasei.ac.jp](mailto:startup@tokyo-kasei.ac.jp)